

# RISING STAR

## 時代を担うライジングスター Web全国公募TOP3

次代を担う「ユニコーン企業」の卵を探せ！ 昨年からはまったWeb公募企画「RISING STAR」アワード。  
今年には全国から25社がエントリー。未来のメルカリはどこだ！

text by Forbes JAPAN フォーブス ジャパン編集部 = 文

第1位

エブリー

吉田大成



エブリーは、「動画を通じてもっと楽しく、もっと充実した毎日に」というビジョンのもと、2015年9月に創業したスタートアップ。創業から、わずか2年あまりだが、すでに料理や女性向け、ママ向けなど4つのカテゴリで動画メディアを展開している。代表取締役を務める吉田大成は、ソーシャルゲーム会社のグリー「釣り☆スタ」などの立ち上げに従事し、日本事業全体を統括した人物。現在、料理動画メディア「DELISH KITCHEN」のアプリダウンロード（DL）数は800万を突破している。

第2位

東京ロケット

我妻陽一

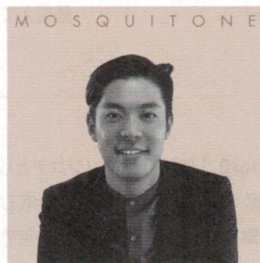


東京ロケットは、2017年3月に創業したスタートアップ。建設業の職人と現場をマッチングするアプリ「助太刀くん」を開発、運営している。代表取締役である、我妻陽一は大手電気工事会社で現場監督として働いた後、電気工事会社を11年経営した経験を持つ人物。同年8月にVCから5,000万円の資金調達を実施、9月にweb版をリリース。また、「職人に対する就労支援」に関する特許を出願し、建設現場の「人手不足」の解決を図る。17年11月にスマートフォン用アプリを配信予定。

第3位

モスキートーン

堀浩輝



モスキートーンは、社員の目標と評価をクラウドで一元管理するサービス「HRBrain」の開発・運営を行う、スタートアップ。創業は2016年3月。代表取締役の堀浩輝はサイバーエージェントでAmebaの事業部長を経験した人物。同社は17年1月にジェネシアベンチャーズとBEENEXTから数千万円規模の資金調達を実施、同サービスを正式公開した。具体的な料金体系はユーザー数別の従量課金モデルを取り入れており、1ユーザーあたり600～900円。これまでに数十社が利用している。

「新しい日本」をつくり、日本経済を牽引する起業家を応援するというコンセプトのもと、今年で4回目を迎えるフォーブス ジャパン恒例の「日本の起業家ランキング」。その新たな試みとして、昨年からはまったのが、読者が中心となって次代を担うスタートアップを決める公募枠「RISING STAR」アワードだ。

応募条件は今年も「創業3年以内であること」のみ。資金調達額は不問にし、①起業家の「志、理念」、②ビジネスの「革新性」、③「起業家と経営チーム」、④後押しする推薦者のコメントの4項目でエントリーを募った。

エントリーした25社を対象に、web上で読者投票を実施、上位5社を選出。その結果をもとに、評価委員によって上位3社を決定した。1位は動画メディアを手がける「エブリー」、2位は建設業のマッチングアプリを手がける「東京ロケット」、3位は人事評価・分析のクラウドサービスを手がける「モスキートーン」。「IoT」関連のサービスがランクインした昨年とは異なる顔ぶれとなった。

この中から、日本発・世界的な「ユニコーン・スタートアップ」が生まれてくることを期待したい。F

### 応募スタートアップ一覧

エイシング・出澤純一 / ecoo・工藤慎一 / エネチェンジ・有田一平 / エブリー・吉田大成 / カウ・大木大地 / Kyash・鷹取真一 / クリントル・杉田玲夢 / Terra Drone・徳重 徹 / 東京ロケット・我妻陽一 / TRINUS・佐藤真矢 / ナウキャスト・林 良太 / favy・高梨 巧 / BizteX・嶋田光敏 / ブイキュープロボティクス・ジャパン・出村太晋 / Planetway Corporation・平尾憲映 / ベースフード・橋本 舜 / ペットボードヘルスケア・堀 宏治 / BONX・宮坂貴大 / FOLIO・甲斐真一郎 / モスキートーン・堀 浩輝 / manaby・岡崎 衛 / ミライセルフ・表 孝憲 / モビンギ・Wayland Zhang / レトリバ・河原一哉 / ローンディール・原田未来

順不同